

日産自動車
2002年度上半期決算報告
2002年11月19日

テイエリー ムロンゲ
副社長 兼 最高財務責任者

プレゼンテーション概要

- 主要財務実績
 - 過去最高の収益 :10月23日決算見通しから大きな変更はなし
 - 各地域ともに好調な業績
 - 当期利益分析 - 営業外・特別損益及び税金
 - 開発費・設備投資及び償却費と所在地別内訳
 - 事業セグメント分析 - 主な変動要因
 - 自動車事業実質有利子負債の削減
 - 販売金融事業 (利用率, 資産内容)
 - 販売金融事業 (資金調達手段 / 貸倒率 & 支払遅延率)
 - 実質有利子負債及び格付け
 - 年金債務状況
 - 日産自動車単独実績
- 業績見通し
 - 今後3年間の配当政策

主要な財務実績

- 生産台数 :1,355千台、+12.9%増 (対前年同期比)
- 販売台数 :1,386千台、+7.5%増 (対前年同期比)
- 売上高 3兆2,855億円、+10.3%増 (対前年同期比)
- 売上高営業利益率10.6%を達成
 - 営業利益3,483億円、+84.5%増 (対前年同期営業利益 1,888億円)
- 売上高当期純利益率 8.8% (前年同期7.7%)
 - 当期純利益2,877億円 (前年同期当期純利益2,303億円)
- 自動車事業実質有利子負債の大幅削減
 - 2002年9月末2,701億円 (対2002年3月末4,317億円比1,616億円減)

過去最高の売上高営業利益率

➤ 確定決算値は、10月23日発表の業績見通しから大きな変更はなし

主要な財務実績

(千台)	02年度上半期	01年度上半期	変動率(%)
生産台数	1,355	1,188	12.9%
販売台数	1,386	1,289	7.5% *
(十億円)			
売上高	3,285.5	2,977.5	10.3%
売上原価	2,350.8	2,179.4	7.9%
販売費・一般管理費	586.4	609.3	-3.8%
営業利益	348.3	188.8	84.5%
売上高営業利益率(%)	10.6%	6.3%	

*; 02年度より中国を追加。変動率は上記を加味した上で算出した。

各地域ともに好調な業績

➤好調な販売が、売上高の増加に貢献

日本 :+12%増

米国 :+ 8%増

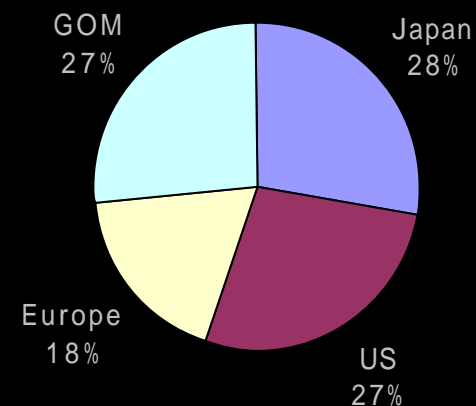
欧州 : 9%減

一般海外市場 :+16%増

02年度上半期所在地別売上高営業利益

(十億円)	売上高	営業利益	売上高営業 利益率(%)
日本	2,048	174	8.5%
米・カナダ	1,256	114	9.1%
欧州	475	7	1.5%
その他海外	479	45	9.4%
連結消去	-973	8	
合計	3,285	348	10.6%

地域別販売台数構成



所在地毎のトレンド

➤ 日本

- 販売台数の増加により 車種構成悪化の一部を吸収
- シェア (含軽) は13.8%、+1.6ポイント増 (対前年同期12.2%比)
- 60%の車種が利益を計上

➤ 米国・カナダ

- 販売台数増加、車種構成も改善
- シェア4.2%を達成、前年同期の4%からインセンティブを30%抑制しながらシェアを改善
- インフィニティ系車種の収益も改善

➤ 欧州

- ルノーとのアライアンスの効果により収益を改善

➤ 一般海外市場 (含むメキシコ)

- 売上、収益を継続的に拡大

連結当期純利益

(十億円)	02年度上半期	01年度上半期
営業利益	348.3	188.8
売上高営業利益率(%)	10.6%	6.3%
金融収支	-8.0	-12.1
退職給付会計基準変更時差異	-12.1	-12.1
その他営業外損益	-4.7	-4.3
経常利益	323.5	160.3
有形 固定資産売却益	60.7	11.0
投資有価証券売却益	2.2	13.9
その他特別損益	-21.4	-19.8
税引前当期純利益	365.0	165.4
法人税等	-79.3	68.5
少数株主損益	2.0	-3.6
当期純利益	287.7	230.3
売上高当期純利益率(%)	8.8%	7.7%

連結当期純利益

➤ 営業外損益・特別損益

- 金融収支改善 02年度上半期80億円 (01年度上半期121億円)
- 退職給付会計基準変更時差異 : 02年度上半期 121億円
- 有形 固定資産売却益 607億円 : 主に村山工場跡地売却による益

➤ 法人税等

- 02年度上半期 実効税率 22% (欧州日産清算による影響)
- 02年度通年での税率は、30%程度と予想 ...
- ... 03年度以降は通常 of 税率に戻る予定

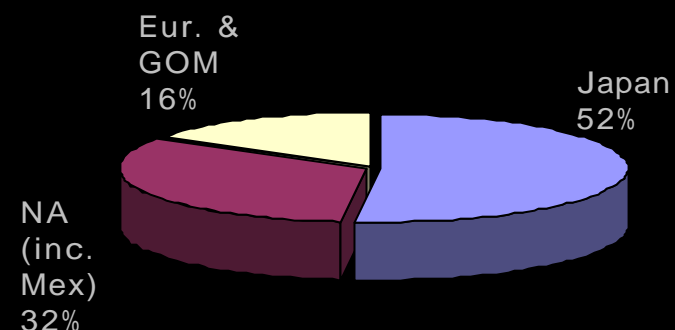
設備投資・減価償却費・開発費

(十億円)

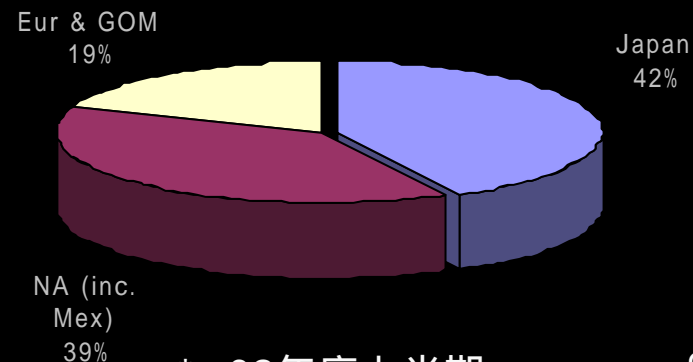
02年度上半期 01年度上半期

設備投資	113.1	128.5
売上高比率(%)	3.4%	4.3%
減価償却費	109.6	102.7
売上高比率(%)	3.3%	3.4%
開発費	131.9	104.5
売上高比率(%)	4.0%	3.5%

設備投資 (所在地別内訳)*



減価償却費 (所在地別内訳)*



02年度予想 (十億円)

- 設備投資額 350
- 減価償却費 220
- 開発費予想 290

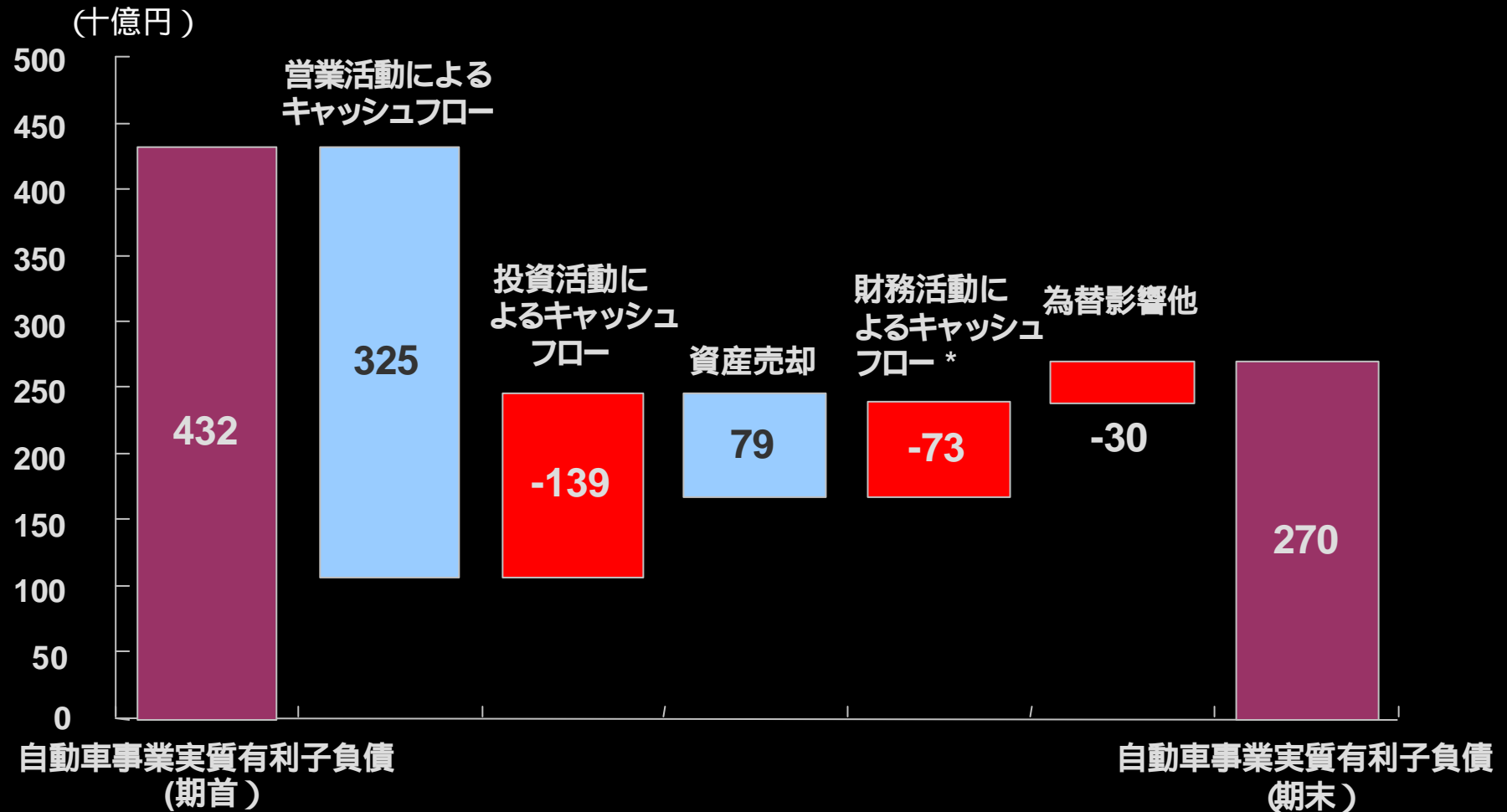
* : 02年度上半期

事業セグメント別実績

➤ 自動車事業 / 販売金融事業ともに好業績

(十億円)	自動車事業		販売金融事業	
	02年度上半期	01年度上半期	02年度上半期	01年度上半期
売上高	3,090	2,802	196	176
営業利益	320	167	29	22
売上高営業利益率(%)	10.3%	6.0%	14.6%	12.3%
経常利益	295	139	29	22
当期純利益	271	217	17	13

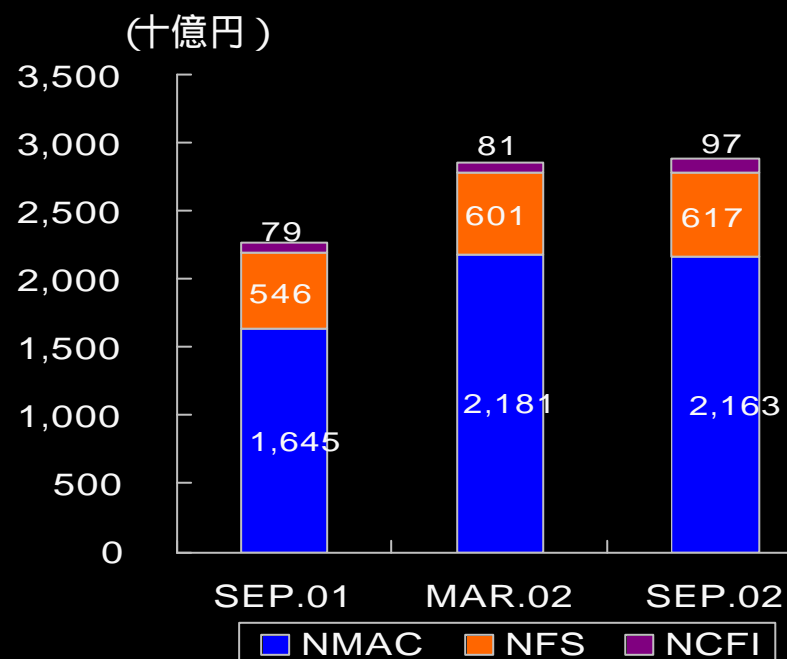
自動車事業 : 実質有利子負債の削減



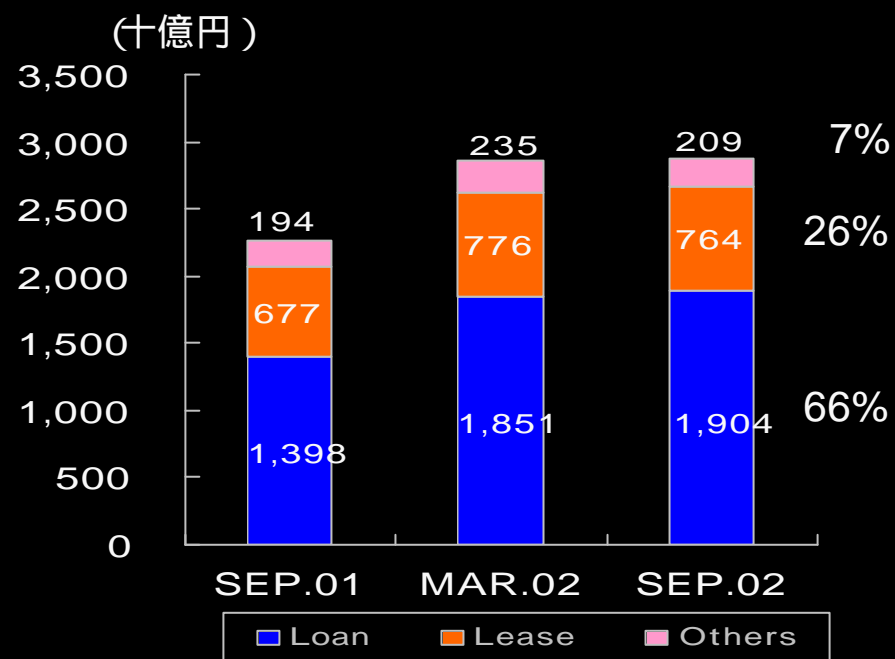
* : 配当金の支払-34、NFSへの出資-25 他

販売金融事業 資産の拡大

会社別内訳



資産タイプ別内訳



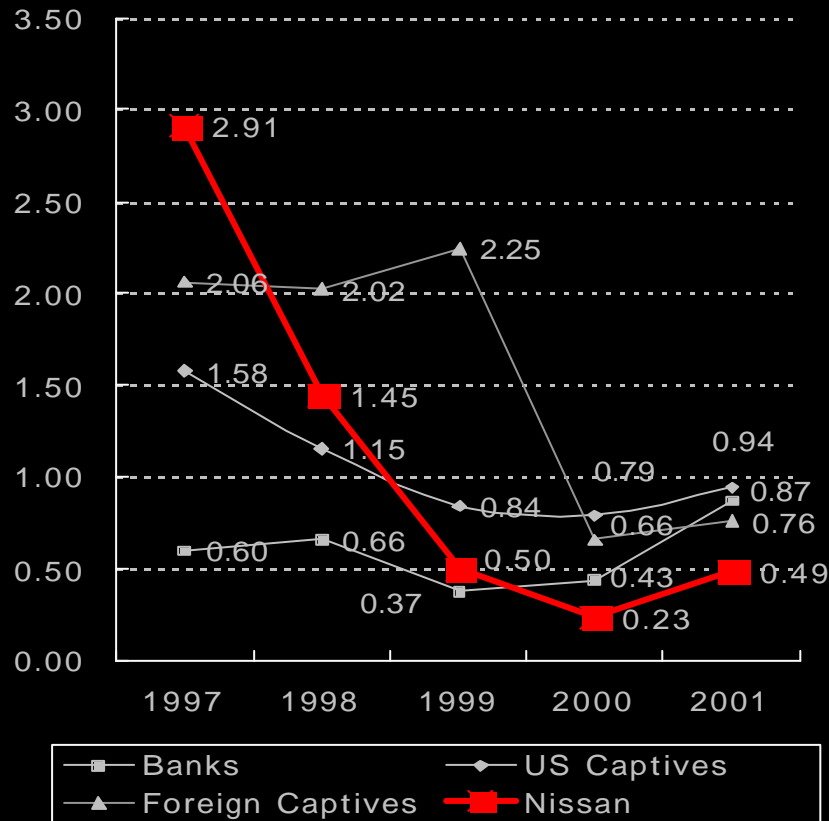
ペネトレーション (利用率)

	01年度上半期	02年度上半期
NMAC	52%	53%
NFS	18%	21%

販売金融事業：資産内容（米国）

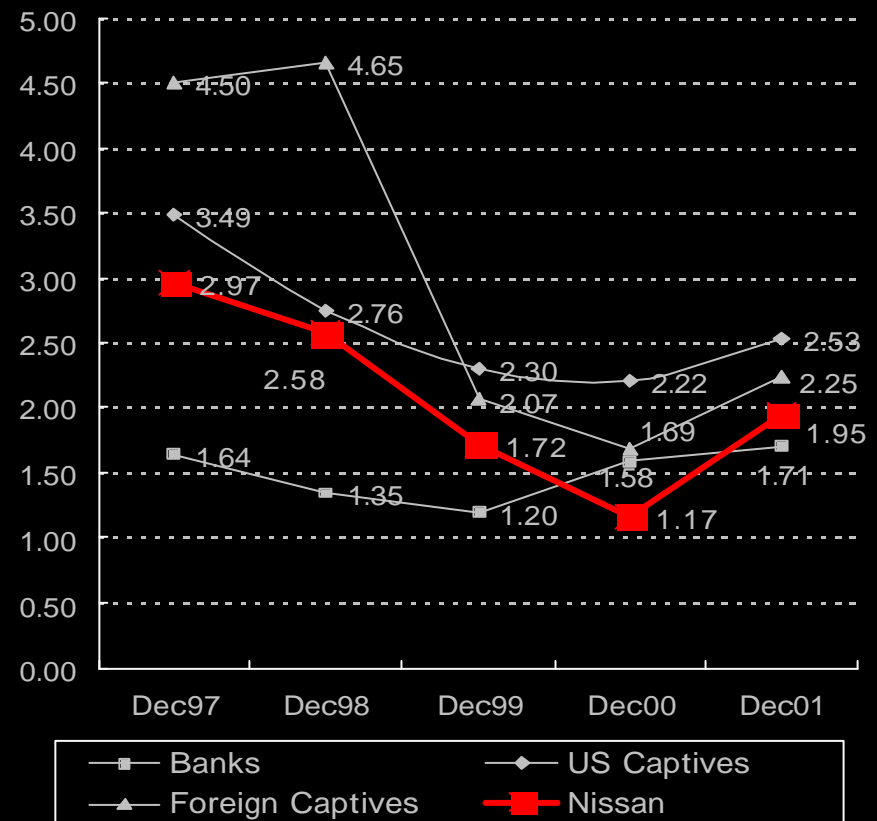
貸倒率

Net Losses / Avg. Net Outstanding Balance (%)

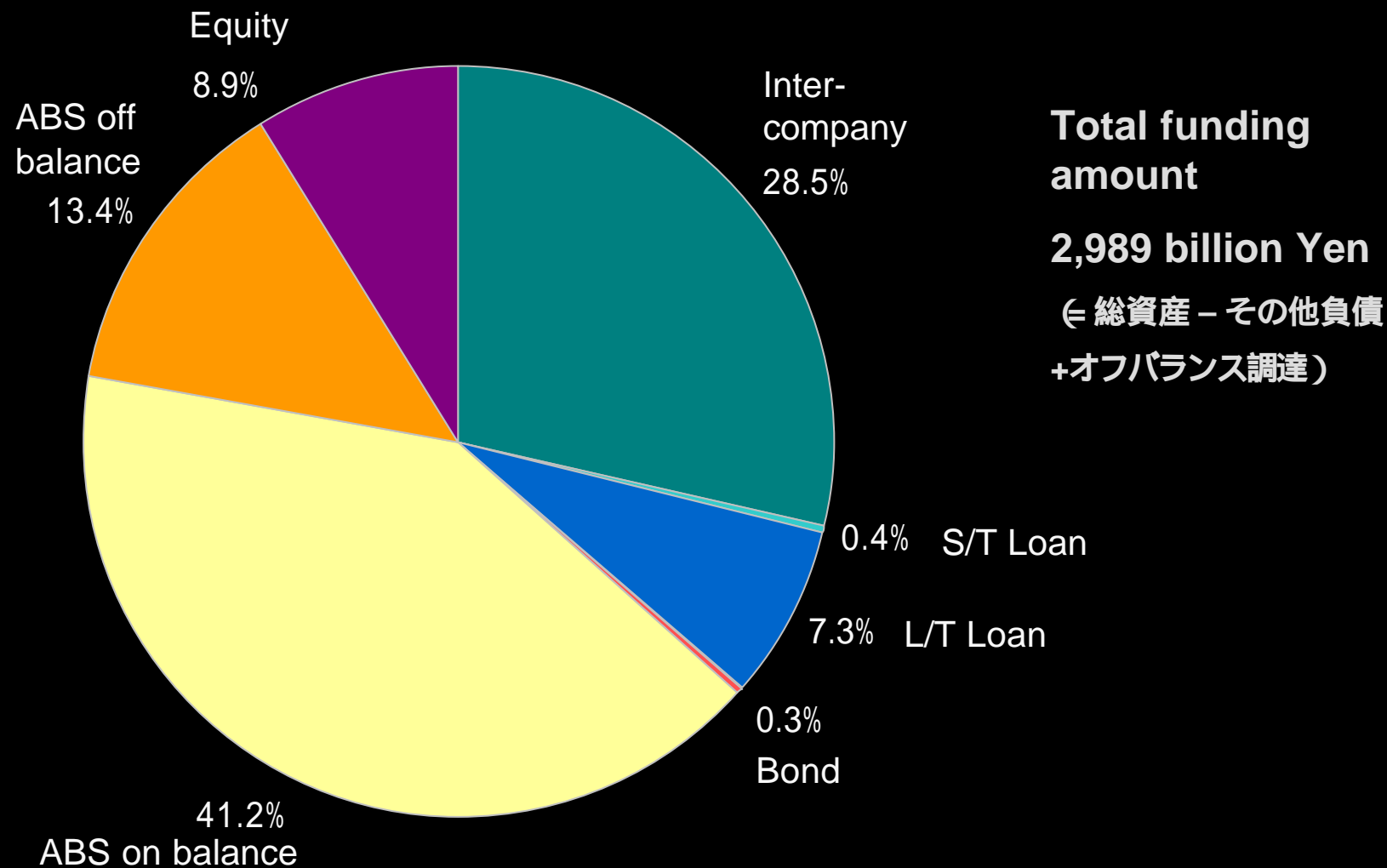


支払遅延率

Delinquencies (31+days) / Net Dollar Receivables Outstanding (%)



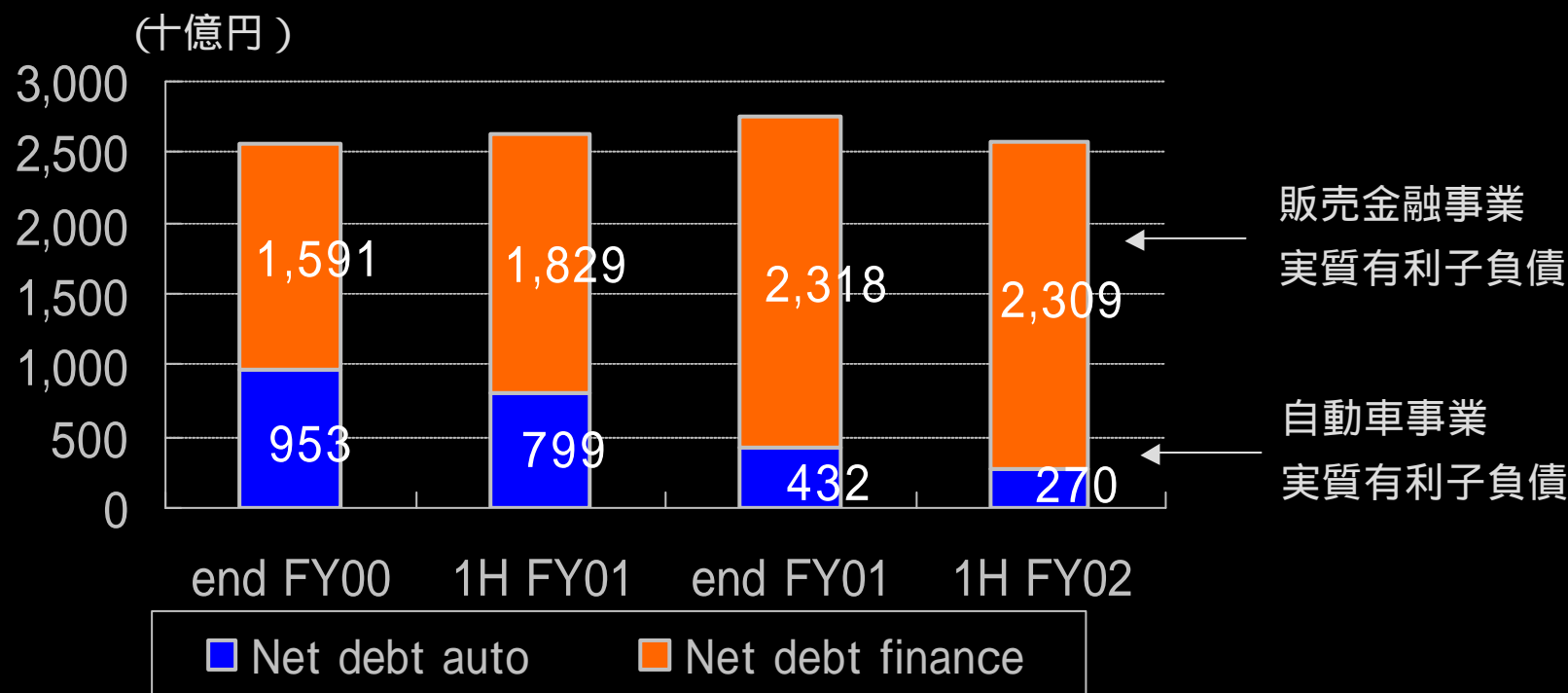
販売金融事業* : 資金調達手段



* NMAC, NFS & NFCI

日産全体: 実質有利子負債の状況

- 日産全体での実質有利子負債は2.75兆円から2.58兆円に減少
- 格付け : ポジティブ・アウトルックを維持 (S&P, Moody's, R&I)



日産全体 年金債務の状況

➤ 01年度末での、退職給付債務

- 退職給付債務 1兆4,282億円
 - 年金資産 6,746億円
 - 連結貸借対照表上の純額 4,003億円
 - 未認識の債務 3,533億円

➤ 02年度連結収益への影響

- 収益影響予想額 約1,000億円
 - 営業費用 760億円
 - 営業外費用 240億円

日産自動車単独実績

(千台)	02年度上半期	01年度上半期	変動率(%)
売上台数	718	606	18.5%
(十億円)			
売上高	1,601.7	1,395.6	14.8%
営業利益	152.1	113.8	33.7%
売上高営業利益率(%)	9.5%	8.2%	
経常利益	138.5	96.9	42.9%
税引前当期純利益	30.1	71.4	
当期純利益	21.0	184.8	

- 単独 02年度上半期 設備投資 336億円
- 単独 02年度上半期 減価償却費 258億円
- 単独 02年度経常利益予想 2,800億円

02年度 連結業績見通し

2002年度 連結業績予想

	億円
売上高	68,000
営業利益	7,200
経常利益	6,600
当期純利益	4,900
設備投資	3,500
自動車事業実質有利子負債	800

為替レート前提 02年度下半期 : 125円/\$、120円/Euro

3 年配当方針

	01年度 (基準)	02年度	03年度	04年度
年間配当 (1株当たり)	8 円	14 円	19 円	24 円
増加率 (%)		75%	36%	26%

3倍に増額

➤3年間に亘っての透明性の確保

- 発行済み株式総数残高 (02年9月末): 4,517百万株
- 02年度上半期連結調整後期中平均発行済み株式数 : 4,210百万株
(主として、ルノーが所有する当社株式を自己株式として調整している。)

継続的な成長に向けての 日産マネージメントウェイ

日産マネージメントウェイの柱となるCFT (クロス・ファンクショナル・チーム)とバリューアップ

CFT

- CFTは、より高い会社の目標・マネージメントの目標に向けてチャレンジする
- 13 のCFTが活動中
 - － 購買コスト, 財務コスト, クオリティオブマネージメント等

バリューアップ

- バリューアップは、ラインマネージメントが課題を解決し、目標を達成するためのツール
- V-up → 260 アイテム, V-fast → 400 アイテム
- 02年度 年間予想効果額 20億円